

SC業界・時々刻々

障害者水泳の指導の

ヒントになるか!?

本紙198号で伝えた知的障害者水泳実施クラブは83クラブ。加盟クラブの7・8%だ。協会は公益事業として障害者水泳普及活動推進委員会を立ち上げ、研修会及び全国的障害者水泳競技大会を開催しているが、実施クラブは下降線をたどっている。一方で、NPOを組織したり、個人で知的障害者水泳に取り組んでいる数は意外と多い。実態は把握できないが、第7回全国的障害者水泳競技大会の参加チーム・個人を調べるとその傾向が分かる。

なぜ加盟クラブで知的障害者水泳の実施クラブが減り続けているのか？ あるベテラン指導者に聞くと、協会が開催する研修会以外に「学ぶ場がない」こと、指導者が不足していることを挙げてくれた。指導者が不足していれば、受け入れる人数も限られ、事業としての採算にも影響してくる。これが実施クラブ減少の最大の理由だろう。

視点を变えて、一般の水泳指導を学ぶには大量の指南書があり、協会や各支部主催の研修の場がある。独学で学ぶことができる。それでは、知的障害者水泳を学ぶためには…と、出版物を調べたところ、書店に並ぶものはほとんどないことが分かった。探し出した書名と著者(編者)を羅列すると、『障害者のためのハロウィック水泳法』英国水泳療法協会編／『障害者とスポーツ』岩波書店／『運動療法と障害者の水泳指導』寺岡敏郎著／『スキニップ水泳療法』

池田君子著／『発達障害児の水泳療法と指導の実際』児玉和夫・覚張秀樹共著／『発達障がい・知的障がいのある子どもの水泳指導』スモールステップ研究会／『障害のある子どものプール療法 指導援助の実例』覚張秀樹他著があった。知的障害者水泳を担当する指導者の皆さんは、このうち何冊を知っているだろうか？

「指南書がない」は当然、NPOや個人で知的障害者水泳を行っている人達も同じ思いであるだろう。ところが朝日新聞12月8日付(首都圏版)に「障害がある子どもたちには言葉での指示が伝わりにくい場合もあり、従来の指導法はなかなか通用しなかった。障害者向けの教本も少ない。試行錯誤を続ける中、大学で心理学を教えている教員から「絵があれば伝わりやすいかもしれない」と助言を受けた」女性が「スイミング入門書」を発行したと報じていた。

三鷹市の障害者水泳クラブ「アクアマルシェ」を主宰する酒井泰葉さん(28歳)は、アドバイスを受けて文字とイラストを描いたカードをラミネート加工して使ってみた。視覚的な理解を促すツールだったために、子どもたちに指示が伝わりやすくなった。そして、指導経験を書きためていたものと併せてA5判の冊子『ハッピースイミング』(61ページ、頒価1千円+税)をまとめた。前半は身体障害のない子、後半は小児脳性マヒの子がモデルとなって、いかに水の中が楽しい世界かを紹介している。「当事者や家族が『プールへ行ってみよう』と思うきっかけになればいい。障害ゆえのハードルを解消する手伝いが出来れば」と願っての出版だったが、今後は知的、発達、身体、精神に障害のあ



「ハッピースイミング」を作成した酒井泰葉さん

る人向けにもハンドブックを出したいと計画している。

「障がいや疾病の種類に関わらず、どんなに重い方も泳げる環境を増やしていくため、毎日の生活を軸にした個人指導の障がい者水泳専門クラブとして立ち上がり、健康と楽しさをサポートしています」という酒井さんの思いを詳しく知りたい、『ハッピースイミング』に興味を持つたという方は、「アクアマルシェ三鷹」を検索してほしい。学ぶ点はいっぱいある！

2017年のSC新規出店を調べた

最近の新規出店を調べると、フィットネスクラブはあるものの、スイミングクラブはほとんどない。2017年はどこに出店があったのかを調べてみた。併せて主な大手グループのスイミング施設数も調べてみた。

セントラルスポーツが11月に発表した「平成30年3月期第2四半期決算説明資料」によると、9月末現在の店舗数は213店(直営150店、受託63店)だが、指定管理と既存施設に併用されているアメリカンシェーパースーツを外すと「スイミング施設」は136店だった。2017年の出店は指定管理による受託、ジム

施設以外では、12月にNASスポーツクラブ港北を引き継いだセントラルフィットネスクラブセンター南(神奈川県)のみだった。施設の分布は、北海道4店、東北13店、関東60店、東京30店、甲信越・北陸4店、東海9店、近畿12店、中国・九州4店で計136店だ。

ルネサンスは北海道・東北に9店、関東に29店、東京に20店、中部・北陸に8店、近畿に11店、中国・四国に8店、九州に12店の計97店あるが、昨年の新設は見当たらなかった。だが今年春にはユーカーが丘店(千葉県佐倉市)、福島店(福島県)、大分駅前店(大分県)、秋に熊本大江店(熊本県)、冬に沖繩ライカム店(沖繩県)の出店を告知している。

相変わらず出店数の多いのが東祥のホリデイスポーツクラブで、1月は尾張旭店(愛知県)、2月は西一之江店(東京都)、6月は宮崎店(宮崎県)、千葉中央店(千葉県)、7月は焼津店(静岡県)、8月は木更津店(千葉県)、9月は大和高田店(奈良県)、10月は和歌山店(和歌山県)がオープンした。これで北海道5店、東北3店、関東18店、信越6店、北陸4店、東海18店、近畿10店、中国3店、四国1店、九州9店の計77店となり、今年も1月に福岡古賀店、岐阜店、3月は札幌新発寒店、4月は東札幌店、岡崎店(愛知県)がオープンする。

一方、店舗数で最大のコナミスポーツクラブは、2017年の新規オープンを探したが皆無だった。施設数は2017年3月時点で「直営177施設 フランチャイズ5施設」と発表している。

スポーツクラブNASは新規出店があった。9月にNAS高尾(東京都)、12月にNAS溝の口(神奈川県)だ。エリア別スイミング施設は、北海道3店、東北に出店は無く、関東35店、北信越2店、東海3店、関西9店、九州6店の